

日米若手クリエイター交流 招へい第1弾 10月30日來日 米国の若手デザイナー5名が日本の伝統文化に触れる 今後の作品づくりに日本からの刺激を！

国際交流基金(ジャパンファウンデーション)は、クール・ジャパンの主要分野であるデザイン、ファッション、アニメ、アートの4分野を対象とした「日米若手クリエイター交流」事業を2014年度から実施しています。

今回は招へい事業の第1弾として、TED(世界の最前線で活躍する人たちがアイデアを共有するカンファレンス)出演や、ミュージシャンのレディーガガ、Björk(ビョーク)とのコラボレーション活動等、国際的に高い評価を受けている米国の若手デザイナー5名を日本へ招きます。7日間の滞在中、参加者は日本の伝統文化体験や若手デザイナーとの交流を通じて、日本文化を自身の作品づくりに活かす機会とするとともに、今後、日本人や日本文化とのコラボレーション等の可能性を探ります。

地方日程では、日本でも有数のデザインと伝統工芸の街、富山県高岡市や石川県金沢市で、人間国宝・大澤光民氏の工房訪問や若手職人との交流等を通じて、古くから伝わる技術と若い感性が交り合う日本の魅力に触れ、日本文化への関心を高め、理解が深まることが期待されています。

11月4日(火)午前10時30分～12時00分に国際交流基金(東京)で実施する日米若手デザイナー対話(一般公開)もご取材いただけます。ご希望の方は資料下部のお問い合わせ先よりご連絡ください。

【招へい期間】: 10月30日(木)～11月5日(水)

【訪問先】: 富山県高岡市、石川県金沢市、東京

【参加者】: ※著名キュレーター パオラ・アントネリ氏(MOMA)等の推薦に基づき選抜(以下、敬称略)



Kelli Anderson

TED、Wired UK、NPRに取り上げられ、Prattでも教鞭をとる等、様々な分野のデザインを手掛ける米国で売れっ子の若手アーティスト。紙を使ったデザインに関心があり、今回折紙レクデモを体験予定。



Max Weisel

レディーガガをはじめとする大物アーティストと共同制作を行い、アプリ・アルバム「ARTPOP」等を作成。アップル社と協働し、MOMAが作品を所蔵する等、今注目のデジタル・アーティスト。



Westley Rozen

建築デザイナー。NYタイムズスクエアでの2013 Winner of Times Square Valentine Heart Designで選出されたオブジェ「Heartwalk」を作成した、SITUスタジオの共同経営者でもある。日本建築に関心あり。



Martha McGill

イエール大学で修士号を取得。グラフィックデザイナーとして活躍するかたわら、執筆や編集も行う、コミュニケーション・ストラテジスト。日本のグラフィックデザインに関心あり。



Justin Colt

ビジュアルアーティスト。米国デザイン専門誌『PRINT』が選ぶThe 2014 New Visual Artists 20名に選出。デザインスタジオ The Collected Worksの共同設立者。環境とプロダクトデザインに関心あり。

本事業は、日本政府(外務省)が推進する「KAKEHASHI Project -The Bridge for Tomorrow- (北米地域との青少年交流)」の一環として実施しています。 <http://www.jpff.go.jp/intel/youth/index.html>
企画協力: 高岡市デザイン・工芸センター <http://suncenter.co.jp/takaoka/>

主催者・本事業に関するお問い合わせ: 青少年交流室(担当:小出)

Tel: 03-5369-6022 / E-mail: Tetsuya_Koide@jpf.go.jp

取材に関するお問い合わせ: コミュニケーションセンター(担当:川久保、麦谷)

Tel: 03-5369-6089 / Fax: 03-5369-6044 / E-mail: press@jpf.go.jp

